

井上病院のPDならさらにここが安心

PDナース

経験豊富なPD専任の看護師チームが、患者さんごとに応じたきめ細やかな指導を行います。

自宅訪問

PD治療を開始するにあたり、当院へ入院していただきます。退院後、訪問看護師と連携して自宅へ訪問し、サポートいたします。

腹膜機能検査

定期的に腹膜機能検査、透析量の評価を行いますので、適正な腹膜透析処方の微調整が可能です。

豊富な合併症治療経験

腹膜炎などの合併症を起こすこともありますが井上病院は開院以来、多くのPD患者さんを治療してきた経験がありますので適切に対応します。

など、井上病院全体でPDに取り組んでいますので困った時はいつでも対応いたします。

患者さんへ

腹膜透析(PD)を考えてみようかなあ、少し詳しく話をきいてみたいと思われたら、主治医の先生に一度、ご相談をお願いします。

主治医の先生へ

腹膜透析適応の絶対禁忌というのほとんどありませんので是非、一度井上病院地域医療連携室へご連絡下さい。

ACCESS



電車でお越しの方へ

大阪メトロ御堂筋線「江坂」駅南出口⑧より徒歩 8 分

バスでお越しの方へ

阪急バス「江坂駅前」停留所より徒歩 10 分

お車でお越しの方へ

新御堂筋(国道 423 号)北行き 江坂ランプを降り、最初の信号「江の木町」を左折すぐ

旅行・出張などで来阪された透析患者さんの臨時透析「旅行透析」もお受けしています。

詳細は当院ホームページをご確認下さい。



お問い合わせ

ご質問・ご相談などお気軽にお問い合わせ下さい。

お電話 06-6368-7441 FAX 06-6368-7440

社会医療法人 愛仁会 井上病院

〒564-0053 大阪府吹田市江の木町 16-17

社会医療法人 愛仁会 井上病院
INOUE HOSPITAL

“あなたしく”を 支援する 腹膜透析

透析が必要と言われた患者さんとその担当医へ



◆ PD(腹膜透析) ってどんな治療?



なんか難しそう…

お腹の中に液を入れて、貯めて、出す。をくり返して行います。

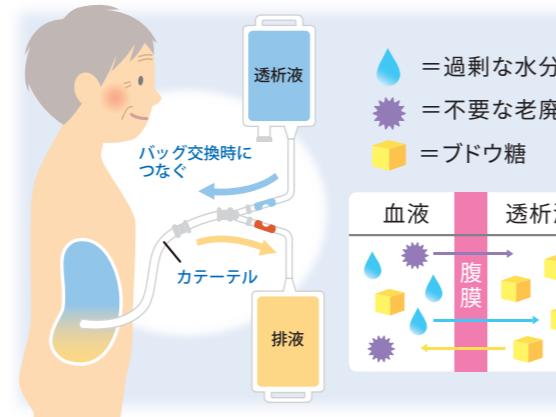
とにかくシンプルです

腹腔内に埋め込まれたカテーテルを通して透析液を腹腔内に注入します。貯留している間に血液中の尿毒素や余分な水分が腹膜を介して透析液に移動します。これを排液し、また新たな透析液を注入します。この操作を一日に3～4回行います。

血液透析との違い

- ①血管に針を刺す痛みが無く、大掛かりな機器も必要とせず手技も簡単。
- ②患者さんや介護者が自宅で行うことができる。
- ③通院は月1～2回。

自尿がなくなり腹膜透析期間が長期になると適宜、血液透析への移行の検討が必要になります。



◆ PDのメリット<生活パターンに合わせた治療>



透析を始めると
仕事や旅行ができなくなる…

患者さんの予定に合わせて行う
治療なので仕事も旅行もできます。

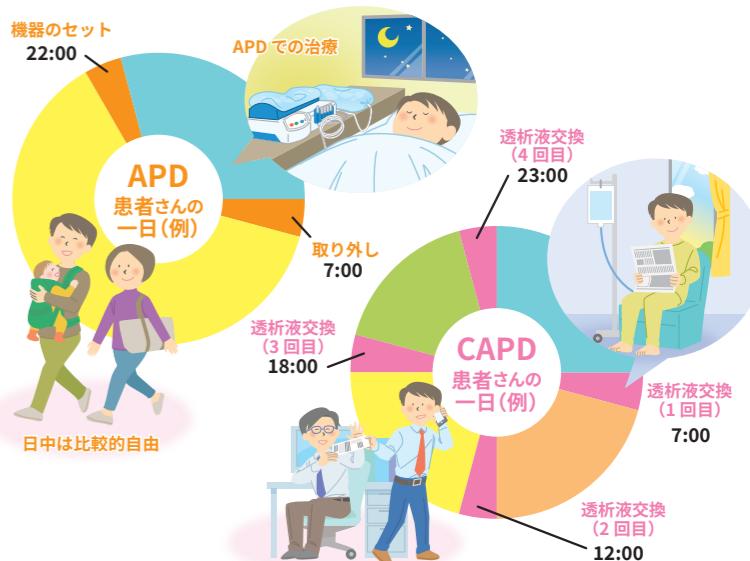
とても自由度が高いです

通院は月1～2回なので生活リズムを大きく変えずに、仕事を続けることができます。

毎日ゆっくり行う透析なので血圧の変化が少なく、カリウムの制限が少ないです。

寝ている間に機器を使って自動的に透析液を交換するAPDという方法もあります。

患者さんごとの生活スケジュールに合わせて透析メニューを組みます。



◆ PDファーストを推奨しています!



透析を始めるのは嫌だなあ…

PDは透析治療というよりも
保存的治療の延長とも言えます。

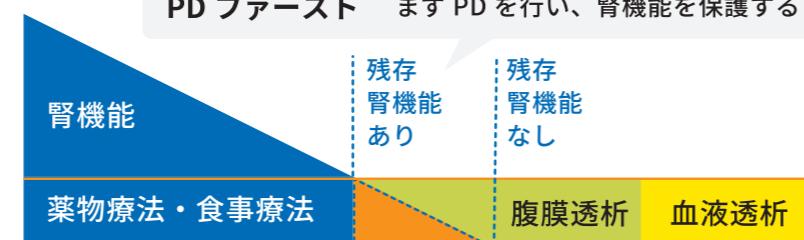
一般的な透析のイメージとは違います

腹膜透析は血液透析と比べると残腎機能(自分の腎臓がはたらいて尿ができる)を保ちやすく、残腎機能が保たれている間は血液透析で透析を開始するよりも、腹膜透析で透析を開始した方が予後が良かったとの報告もあります。

考え方によっては、保存期の腎臓病治療である薬物治療、食事療法などの延長とも言えます。血液透析を開始する前に**残腎機能を保つための治療としてPD治療を行う**という考え方もあります。

PD ファースト まず PD を行い、腎機能を保護する

井上病院ではPDファーストを
推奨します。



We ❤ PD

◆ 高齢患者さんにこそPDがおすすめ!<訪問看護・訪問診療でサポート>



高齢だからムリだよね…

全くそんなことはありません。

想像しているよりも案外簡単にできます

通院回数が少ないと、体や心臓への負担が少ないとから**高齢の患者さんにこそ優しい透析です**。(一方、血液透析では高齢患者さんの場合、透析中の血圧低下や頻回の通院のためにかえって体力をおとしてしまうケースもあります)

井上病院では通院困難な高齢患者さんへのサポートとして腹膜透析担当の看護師・医師が訪問看護・診療も行っています。

また、介護者が旅行等で不在になる場合は、レスパイト*入院していただくことも可能です。

このように高齢者でも腹膜透析治療を行いやすいように、またできるだけ介護者の負担が減るような取り組みを井上病院では行っています。

*レスパイト入院とは…在宅で介護をされている方と介護者の方の支援のため、医療機関で入院という形でバックアップする制度のことです。



透析が必要と言われて「血液透析たいへんだなあ」と思われた患者さんへ

腹膜透析(PD)という選択肢もあります、検討してみない手はありません!!

若い方にも、高齢の方にも合わせた治療が可能で、その人らしさを大切にする愛すべき治療です。

透析が必要になる患者さんの主治医の先生へ

血液透析だけではなく、腹膜透析(PD)という選択肢も御検討ください。

PDは無理というケースは意外と少ないです。